

② 系統連系の確保に関する情報の収集

1. 遊佐沖の洋上風力発電に係る系統連系確保の見通し

(3) 発電事業者による系統接続検討の状況

- ・ 関係者（発電事業者等）から情報収集したところ、現在検討を進めている遊佐沖の洋上風力発電事業に関しては、数社が東北電力に対して系統接続検討の申込みを行っている模様である。想定される発電規模は30万kW～40万kW程度で、連系地点は酒田北港変電所や八幡開閉所になると考えられる。この場合の工事費負担金は、数千億円と想定される洋上風力発電の事業規模からすると、投資を行う上で現実的な金額になるのでは、との見解が示されている。
- ・ 通常、接続検討に要する期間は3か月程度とされているが、今般の検討に当たっては、東北北部の募集プロセスの結果を踏まえる必要があり、同プロセスのとりまとめが遅れていることから、接続検討に時間を要しており、事業者に対する工事負担金や工期等に関する正式な回答は、同プロセス完了（令和元年12月下旬の予定）の後になる見通しである。